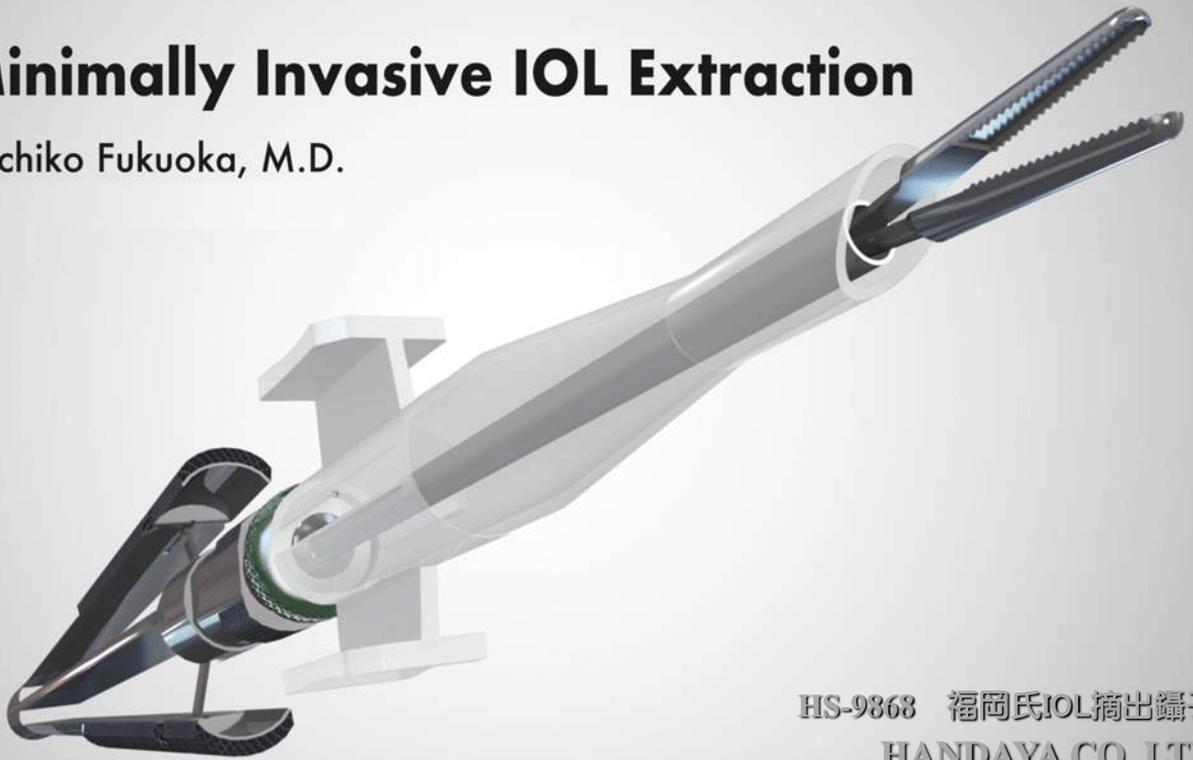


Minimally Invasive IOL Extraction

Sachiko Fukuoka, M.D.



HS-9863 福岡氏IOL摘出鑷子
HANDAYA CO.,LTD

2019 Ophthalmic Surgery Film Award ★グランプリ受賞：「カートリッジと鑷子によるIOL摘出法」
2020 ASCRS Film Festival New Techniques部門 ★第一位：「Minimally Invasive IOL Extraction」

ミニセミナー

第37回 JSCRS学術総会：6月24日-6月26日 国立京都国際会館

日時：2022年 6月25日（土）14:45 ~ 15:00

会場：第7会場（イベントホール内）

「カートリッジと鑷子による低侵襲な眼内レンズ摘出」

福岡佐知子（ふくおか眼科クリニック中野）

近年、白内障手術の低年齢化やアトピー性疾患の増加、長寿命によりIOL脱臼症例が増加している。また、白内障手術後の度数ズレやプレミアムレンズの不満足例に対し、IOLを摘出する機会も増えている。現在のIOL摘出は、IOLを鑷子で半分に折り曲げたり、剪刀で分割して摘出している。前房という狭いスペースで行うため、手技に手間取ると角膜や虹彩に侵襲を与えてしまう。そこで、合併症を軽減する目的でカートリッジと鑷子を使い、低侵襲にIOLを摘出する“Cartridge pull-through technique“ という方法を考案した。

既存のカートリッジに新規作成した福岡氏IOL摘出鑷子（はんだや）を使用して、IOLをカートリッジ内に引き込んで摘出する手技である。ここでは本方法の基本術式や合併症を起こさないための注意点などをご紹介します。

